

## 「第5期地域福祉支援計画(素案)」に対する県民意見募集に寄せられたご意見と県の考え方

意見募集期間：令和5年12月18日(月)～令和6年1月16日(火) [30日間]

提出意見数：1件(1名)

通番	ご意見の内容(要旨)	ご意見に対する県の考え方
1	<p>近年、社会的に孤立し、周囲とのつながりを感じられない方が、動物に安息を求めることで、多頭飼育崩壊等の問題につながる「生活困窮者とペット飼育問題」が注目され始めている。この問題は、一見、動物の問題と捉えられがちであるが、入院が必要な状態にもかかわらず、ペットがいるから入院ができないなど、福祉サービスの提供を妨げる事態が日常的に発生しており、社会福祉の枠組みの中で検討されるべき問題である。</p> <p>このような問題に対し、社会福祉の関係者は、動物関係のNPOと連携し、ペット飼育問題を発生させるおそれのある方に対する早期介入を行うことが重要であることから、地域福祉支援計画の中で、社会福祉関係者と動物関係のNPOとの連携の枠組みや方針を示すべきではないか。</p>	<p>県では、孤独・孤立に悩む方への支援を推進するため、市町村、社会福祉協議会、様々な側面から支援を行う団体が加入する「岐阜県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を設置し、加入団体相互の連携強化を進めています。</p> <p>「生活困窮者とペット飼育問題」を含め、様々な課題・問題を抱える方の早期発見や支援については、施策項目「孤独・孤立対策の推進」(第4章の1(2))において、当該プラットフォームを活用し、支援機関や支援団体相互の連携・協働により、取り組んでいくこととしています。</p>